

디자이너는
이름을 짓지만
하늘을
만났다

천사를
만났다

이케마츠 소스케
최희서
오다기리 조
김민재
김예은
각본·감독
이시이유야

제작 - 엔디 엔터테인먼트
프로덕션 - 엔디 엔터테인먼트 - 제너럴 - SF21
배우 - 김민재
출연 - 김민재
제작 - RIKI 프로젝트 - The Asian Angel Film Partners
제작 - RIKI 프로젝트 - SECONDWIND FILM
배우 - 이시이유야
제작 - 엔디 엔터테인먼트
프로덕션 - 엔디 엔터테인먼트 - 제너럴 - SF21
배우 - 김민재
출연 - 김민재
제작 - RIKI 프로젝트 - The Asian Angel Film Partners
제작 - RIKI 프로젝트 - SECONDWIND FILM
배우 - 이시이유야
제작 - 엔디 엔터테인먼트

2021 Coming Soon

アジアの天使

傷だらけの人生。
でも、自由だ。

池松壮亮 チェ・ヒソ オダギリジョー
キム・민즈예 키ム・이은 佐藤凌

『舟を編む』 『映画夜空はいつでも最高密度の青色だ』
脚本・監督:石井裕也

エグゼクティブプロデューサー:飯田雅裕 プロデューサー:永井拓郎,バカ・ジョンボム,オ・ジュン 撮影監督:キム・ジョンソン 音楽:バク・イニョン
製作:『アジアの天使』フィルムパートナーズ(朝日新聞社,RIKIプロジェクト,D.O.CINEMA,北海道文化放送,UNITED PRODUCTIONS,ひかりTV,カラーバード)
制作プロダクション:RIKIプロジェクト,SECONDWIND FILM 配給・宣伝:クロックワークス

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会 SF21 GFC 2021

© 2021 The Asian Angel Film Partners

『映画 夜空はいつでも最高密度の青色だ』『生きちゃった』『茜色に焼かれる』

オール韓国ロケ! 石井裕也監督が韓国チームとタッグを組んだ意欲作。

『舟を編む』(13)で日本アカデミー賞監督賞を最年少で受賞、『映画 夜空はいつでも最高密度の青色だ』(17)でアジア・フィルム・アワードの最優秀監督賞を受賞した石井裕也監督の最新作。近年の『生きちゃった』(20)『茜色に焼かれる』(21)でも現代社会や時代と格闘してきた石井監督が、あらためて初心に戻り、これまでの経験値に頼らずにオール韓国ロケを敢行。監督の親友でもある韓国のパク・

ジョンボム監督がプロデューサーを務め、日韓関係の悪化、コロナ禍などの様々な困難を乗り越え、誰も見たことのない新たな“アジアの家族映画”を完成させた。言葉と文化の壁から生まれる噛み合わない会話やコミュニケーションのすれ違いを、時にコミカルな掛け合いとして演出し、相互理解への高いハードルを描く中にも心地良いユーモアの流れる空気感を創り出している。

優しさとユーモアに満ちた、誰も見たことのない「アジアの家族映画」。



池松壮亮 チェ・ヒソ オダギリジョー
キム・ミンジェ キム・イエウン 佐藤凌

脚本・監督:石井裕也

製作:五老剛、竹内力、ハン・ドンヒ、浜田稔、森田篤、永田勝美、宮前泰志 エグゼクティブプロデューサー:飯田雅裕 プロデューサー:永井拓郎、パク・ジョンボム、オ・ジエン 共同プロデューサー:神保友香
音楽:バク・イニョン 撮影監督:キム・ジョンソン 助監督:藤本信介 美術:渡辺大智 韓国美術:イ・アヨン 録音:チェ・ジェウォン スタylist&ヘアメイク:ナム・グス 編集:ジョ・ヒョンジュ、岡崎正弥、石井裕也
VFXスーパーバイザー:赤羽智史 製作:『アジアの天使』フィルムパートナーズ(朝日新聞社、RIKIプロジェクト、D.O.CINEMA、北海道文化放送、UNITED PRODUCTIONS、みからTV、カラーバード)
制作プロダクション:RIKIプロジェクト、SECONDWIND FILM 配給・宣伝:クロックワークス

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会 SFC MEDIA NETWORKS OF GOVERNMENT OF OKAYAMA OFC 2021 The Asian Angel Film Partners

「言葉」「国籍」「価値観」を超えた、人と人のつながり。ボロボロになった二つの家族が寄り添うとき、ある“奇跡”が舞い降りる…。

8歳のひとり息子の学(佐藤凌)を持つ小説家の青木剛(池松壮亮)は、病気で妻を亡くし、疎遠になっていた兄(オダギリジョー)が住むソウルへ渡った。ほとんど韓国語も話せない中、自由奔放な兄の言うがまま怪しい化粧品の輸入販売を手伝う羽目。

元・人気アイドルのソル(チェ・ヒソ)は、自分の歌いたい歌を歌えずに悩んでいたが、亡くなった父母の代わりに、兄・ジョンウ(キム・ミンジェ)と喘息持ちの妹・ボム(キム・イエウン)を養うため、細々と芸能活動を続けていた。

しかし、その時彼らはまだ知らない。

事業に失敗した青木と兄、学たちと、資本主義社会に弾かれたソルと兄、妹たち——どん底に落ちた日本と韓国の二つの家族が共に運命を歩む時、ある“奇跡”を目の当たりにすることを…。

